

この写真の下は4月24日に多摩ニュータウン内の清水入緑地のランヨウアオイの花です。写真上は5月14日に撮った同じ花です。3週間後にも花は咲き続けて長期間に驚きました。「葉の下で地面に張り付くようにひっそりと咲いているので、花粉を運ぶ訪花昆虫に出合える機会が少ないため、長い期間咲いているのだろう」と勝手に推測しました。粕谷

紅葉台



新聞

第243号

2026年

7月18日

発行人：関谷 孝

粕谷和夫の観察日記



今、住宅地を歩くとカラフルなクレマチスの花が目立ちます。園芸種のクレマチスに対し、自生するクレマチスの仲間が**カザグルマ**です先日アップしたトチノキがあった片倉城跡公園の一角に咲いていました。野生種とは思えないほど大輪で美しい。

1948年（昭和23年）に国の天然記念物の指定を受けたという「カザグルマ自生地」が奈良県宇陀市にあるという。機会があれば一度行ってみたいです。



今、公園や川で目立つ亀は**ミシシippiaカミミガメ**ですね。お祭りの縁日で「**ミドリガメ**」として売っていた亀の親の姿です。目の後ろ、耳の上に鮮やかな朱色の斑紋があるので「赤耳亀」。5月2日、八王子・湯殿川で5月の野鳥カウント中に見かけた時に「耳の後ろの赤味がよく見えたのでシャッターを切りました。増え過ぎて在来カメを駆逐するなど深刻な影響を与えています。」

今、公園や民家の庭にカラフルなバラが咲き誇っています。この写真の花は野生の**ノイバラ**です。多摩川の河原（八王子・高月）には30株以上のノイバラが鋭い棘に守られて咲きそろっていました。周りからはウグイスのさえずりがシャワーに様に降り注いできました（5月5日子供の日）



この写真の縦型に積みあがっている箱は**ニホンミツバチの巣箱**、その前の**緑色のネットに包まれているのはキンリョウヘン**という中国原産のランで、小型のシンビジュームの一種です。このランの花が発するフェロモンがニホンミツバチを呼び集めるらしいです。ネットの前面で咲いている花が見えるでしょうか。場所は八王子・湯殿川近く、巣箱のオーナーの許可をもらってこの写真を撮りました。この巣箱に日本蜜蜂が来てくれることを期待です。



春の七草**ホトケノザ**の正体は**コオニタビラコ**と言われています。4月24日、八王子・川町谷戸ではコオニタビラコが田んぼ一面に咲いていました。この写真には写っていません

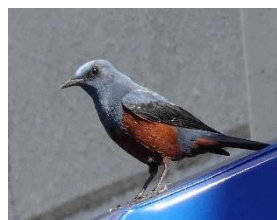


が、花の周りにはベニシジミやモンキチョウが飛び交い、雑木林からはウグイスやコジュケイの賑やかな声も聞こえてきました。

ひと昔前の春の田んぼを彩る美しい紫色の花・**レンゲ**、日本の農村風景には欠かせない存在として、多くの人の心に親しまれてきました。しかし、今はそのような田んぼは殆んどありません。5月5日、八王子・高月田んぼで5月の野鳥定期カウント中の田んぼにわずかながらレンゲの花が見られました。その田んぼの直ぐ近くの田んぼから長くくちばしのタシギが突然飛び立ち、驚くとともに、カウントの疲れが吹っ飛びました。



4月21日、多摩ニュータウン内の清水入緑地で4月の野鳥定期カウント中に**ランヨウアオイ**の花に出会いました。この草は山地や丘陵の林内に生える常緑の多年草、花は紫褐色で半ば埋もれているかの状態で咲いていた。和名の「**乱葉**」は、葉に雲紋があるものが多いことが由来とのこと。カンアオイやタマノカンアオイと同じ仲間である春の女神ギフチョウの食草です。



今、**イソヒヨドリ**が営巣の真最中です。磯（海辺）の鳥イソヒヨドリが内陸の八王子で初めて記録されたのは1993年、営巣の初確認は2009年（今から18年前）です。マンションの屋上や民家の屋根で綺麗な声で鳴いてい

ます。この鳥の巣の調査を始めて18年。今年も自転車で巣の有りそうな場所をパトロールしています。5月7日は狙いを定めた某病院の駐輪場に自転車を止めるとオスが2mぐらいに近づいてきて、存在を教えてくださいました。が直ぐに飛び去って行きました。

今年も 高尾駅南口にツバメがやってきた！

昨年ここで子育てをしていたツバメを紹介しました。今年もやって来て営巣していました。駅を通る人も気が付いて見上げています。5月9日夜7時。外が暗くなってきたので親鳥が巣の近くで羽を休めています。今年も駅の方の配慮で巣から糞が落ちて、も下を汚さないように工夫しています。こんなほほえましい風景を見ると「今年も頑張れ！！」と声を掛けたくります。皆さんの家の近くでもツバメを見ますか？



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。

この写真の下は 4 月 24 日に多摩ニュータウン内の清水入緑地のランヨウアオイの花です。写真上は 5 月 14 日に撮った同じ花です。3 週間後にも花は咲き続けて長期間に驚きました。「葉の下で地面に張り付くようにひっそりと咲いているので、花粉を運ぶ訪花昆虫に出合える機会が少ないため、長い期間咲いているのだろう」と勝手に推測しました。粕谷

熱中症予防について 緊急号

「
毎日暑いですね」
が挨拶の枕詞になってしまいました！

そこで今回急遽、これから予想される熱中症を予防する対策をお知らせします！！

タイミングよく 7 月 6 日（月）狭間民生委員の辻井さん（今年は熱中症対策アンバサダー（主催大塚製薬）認定の登録もしました）・紅葉台民生委員の遠藤さんが協力してあんしん相談の看護師・保健師さんや大塚製薬を講師にお呼びし、「熱中症予防講座」を行いました。

皆さんにもためになる内容ですので、今から熱中症対策をしてください！！

熱中症について。

熱中症とは**体内の水分塩分バランスが崩れ、体内に熱がこもった状態**です。

熱中症になりやすい場所は**住居・道路・仕事場や学校運動場**。なりやすい時間は**午前 11 時と午後 3 時台**です。
熱中症になりやすい人。**一度熱中症になった人**（体温調節や体力低下が残りやすい）**肥満気味の人**（体の熱を逃しにくい）**筋量が少ない人**（循環血液量が少ないので脱水になりやすい）**高齢者**（体の水分量は 50% ぐらいに減少）

子ども（断熱作用が弱く汗戦も未発達）などです。
お気を付けください。

では、熱中症を予防するには。
室内を涼しくする。また、**まちなか避暑地（空調が稼働している公共施設や商業施設）を暑さ対策**に利用しましょう。

水分をこまめにとる。

水分を取るからには塩分にも気を付ける。

以前の熱中症予防講座では塩分について「赤い蓋の食卓塩ではダメ」とのこと。

なぜなら塩化ナトリウム 99 パーセントでミネラル成分がほとんどないからです。**ミネラルやマグネシウム・カリウム成分 も含んだ天然塩がベスト**とのことです。

また **OS1(経口補水液)**についての説明では熱中症になったときの飲みもので、**予防するための飲み物ではない**とのこと。

毎年受けていても、毎年新たな発見があります。

（文責 狭間町民生委員辻井恵美子）

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」の HP に公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。